

第2学年3組 学級活動指導案

平成20年2月6日(水) 第2校時

授業者 T1 講師

T2 養護教諭

1 題材 「ぼく、わたしが生まれたよ」

2 題材について

「命」とは、生まれる前から始まっており、無事にこの世に誕生するまで、両親だけでなく様々な人たちの愛情や苦勞によって支えられている。昨今「命」に関わる事件や事故が多く発生しており、今一度「命」の大切さや家族の愛情について考えるのは、児童にとって大変重要なことであると考えられる。

児童は現在、生活科の「あしたへジャンプ」という単元で、自分が生まれてから現在までの成長と自分の成長を支えてくれた人たちの思いについて学習中である。その学習と関連づけて、この時期にこの題材を取り上げるのはたいへん有効であると考えられる。

3 児童について

男子19名、女子16名の計35名のクラスである。明るく活発な児童が多いが、授業中に自分の考えを発表することが苦手な児童もいる。

今回の学習と関連がある生活科の「あしたへジャンプ」という単元では、自分の生まれた頃から現在までの様子を調べ、まとめる活動を楽しそうにしている児童が多く見られる。また、普段は発表が苦手な児童も、小さかった頃の自分についてのグループ内での発表では、楽しそうに活動している。

4 指導について

児童は現在7・8歳で、ようやく自分だけでなく周りの人のことも意識するようになってきたところである。まだまだ、自分を客観的に捉えることは難しく、生まれた頃の自分についても深く考えたことがない児童が多いと思われる。

そこで、今回の授業では、実際に赤ちゃんの声を聞いたり、妊婦体験をすることで、生まれたばかりの頃の自分や、母親の苦勞などをイメージしやすくしたい。また、生まれた頃の自分を家族に聞き取り調査し、それを発表することで、より家族の愛情を感じるようにさせたい。

現在、個人研究として「自信をもって自分の思いを表現できる学級づくり」を実践しており、特に「聞く・話す」に重点を置いている。今回の授業は、自分が生まれる時のことについて家族から聞いてきたことを発表するという、児童にとって楽しく身近な内容であるため、自信を持って話をし、また他の児童の話に興味を持ってしっかり聞くという場面を設定し、「聞く・話す」力を伸ばしたい。

さらに、自分を大切に育ててくれた家族に感謝の気持ちをもつだけでなく、今後自分の命を大切にするために、どのようなことに気をつけていけば良いかを考え、めあてをもって生活することができるようにしたい。

5 本時の目標

自分が生まれ、これまで大きく成長してきたのは周囲の人々の深い愛情によるものであることを知り、これから自分で自分の命を大切にしていくなめには、どんなことに気をつけて生活していくと良いか考えることができる。

6 準備物

赤ちゃんが生まれた時の声のテープ、3キロの重さのエプロン、赤ちゃんの写真、おなかの大きな女の人の絵、ワークシート、手紙

7 本時の学習過程

学 習 活 動	T 1 支援（・）と評価（☆）	T 2 支援（・）と評価（☆）
<p>○赤ちゃんの声のテープを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんの声だ。 ・おなかですいているのかな。 ・元気の良い声だ。 <p>○命はいつから始まるのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生まれた時から。 ・少し成長してから。 ・お母さんのおなかの中にいる時から。 <p>○妊娠中のお母さんの大変さを体験する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おなか重いな。 ・動きにくくて大変。 ・おなかを守らなくては。 <p>○自分たちの誕生について、調べたり聞き取ってきたりしたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食べ物やタバコなどに気がつけた。 ・適度な運動をした。 ・生まれてきて本当にうれしかった。 ・家族みんなが喜んだ。 <p>○自分たちの命を大切にしていくなために、どんなことに気をつけて生活していくとよいか考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故に気をつける。 ・不審者に気をつける。 ・危険なことをしない。 ・手洗い，うがいをする。 ・早寝早起きをする。 ・はみがきをする。 ・好き嫌いをなくして丈夫な体を作る。 <p>○家の人への手紙を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感謝の気持ちを大切に、今後気をつけていきたいことや思ったことをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが生まれたときの様子をイメージさせ、今日の学習課題をつかませる。 ・自由に発表させるようにする。 ・教師側で「お母さんのおなかの中にいた時のこと」と「赤ちゃんの時のこと」を分けて板書する。 ・両親や家族の喜びや愛情に目が向くような発表を教師側で関連づける。 ☆愛情を受けて生まれ育ったことや、自分の誕生が家族に大きな喜びを与えたことに気づくことができたか。（発表） ☆自分の命を大切にしていくなためのめあて、気持ちなどを書いているか。（ワークシート） 	<ul style="list-style-type: none"> ・おなかの大きさが変化する女の人の絵を掲示して、赤ちゃんがおなかの中で育つ様子をイメージしやすくする。 ・妊婦体験をさせて、お母さんの苦労に思いがいくようにする。 ・基本的な生活習慣も今後の自分の体をつくり、命を支えていくことに気づかせる。